



令和 6 年 6 月 3 日

午前・後 4 時 00 分受領

令和 6 年 6 月 3 日

南山城村議会議員 奥森 由治 様

南山城村議会議員 鈴木 かほる

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の 相手
1) 高齢者福祉施設にあたって	村内に施設サービスを提供できる特別養護老人ホームができる計画には村民からの大きな期待が寄せられています。全員協議会で説明を受けていますが、村民の願いに沿ったものになるのか、その内容や利用料などについて、再度確認をします。 ① 事業者誘致に当り、村はどのようなサービスを求めるのですか。 ② 事業者選定、施設建設、開業までの日程を確認します。 ③ 施設に村民誰でも費用の心配なく利用できるよう、どのような支援制度がありますか。	村長
2) 高齢者のきこえの健康維持のために	今年度から高齢者の集団検診項目に聴力検査が入り、早期発見・早期治療ができ、きこえの問題解決への一歩が始まりました。採択された請願の趣旨をいかした施策を進めるために質問をします。 ① 広報を強め、補聴器装着の理解を広げ、村独自の購入補助の制度へと進めるべきではありませんか。 ② 補聴器は高額であり、請願にもあるように「中等度の難聴を医療扱いする」よう国や府に働きかけるべきではないですか。	村長
3) 認定こども園について	村長は今年の施政方針で保育所を「認定こども園」とする提案をしています。その意図を質問します。 ① なぜ今、認定こども園を求めているのですか、目的は何ですか。 ② すべての保護者、保育士などの声を反映すべきですが、確認されましたか。	村長

4) 防災対策を進めるために	能登半島地震から学んで、洪水や地震から村民の命を守るための、住まい・水・食料・交通・電気など課題は山積ですが、今回は住まいの課題について質問します。 ① 昭和56年以前の建物が多いこの村で、住宅耐震化の取り組みは急務ですが進んでいません。 住居の一部にシェルターを設けるなどの取り組みを耐震検査と同時的に進めるべきではないですか。 ② 地震被害が起されば、必ず避難所の設置が必要になります。村内の耐震化された避難場所はどこですか。また避難場所での水・食料・電源確保・トイレ・ベッド・パーテーション・空調などの計画はありますか。 ③ 中長期的な避難生活に対応できる仮設住宅が必要ですが、設置場所の確保は出来ていますか。	村長

(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載してください。(議員必携 154 ページ参照)

2 質問の相手は、村長、行政委員会の長または監査委員とします。